

ハイタカ（タカ科） 全長 オス31.5センチ メス39センチ

ハトぐらいの大きさしかない小形のタカですが、主にヒヨドリまでの小鳥を主食にする猛禽類です。

普段はあまり見かけることはありませんが、冬になると我が家の庭に設置してある餌台に群がるスズメを狙って飛来してきます。

夢中になって餌を食べていたスズメが危険を察知し、一斉に繁みに隠れました。すると、窓ガラスから2メートルほどの冬囲いの上にハイタカが現れました。これほど近距離で見たのは初めてです。



ハンノキから周囲を見渡していた。

ハイタカの足指は細長く鋭く曲がった爪を持ち、スズメにとっては恐ろしい天敵です。逃げ遅れたスズメが犠牲になったのでしょうか、雪の上に小さな羽が散らばっていました。

餌台があってもなくても、ハイタカは自然の中で小鳥を狩りながら生きのびていることでしょう。

犠牲になったスズメには気の毒ですが、餌台は春までそのままにしておくことにしています。



見た目はオオタカに似ているが、背中中の斑模様で判別されます。



伸びをすると、尾羽の縞模様が現れた。

大浦沼のハンノキで、獲物を狙うハイタカが見つかりました。
遠目にはオオタカにそっくりですが、体の大きさと背中中の白い斑点などから区別が
つきます。



冬囲いの上から隠れたスズメを狙っている。



間近で見ると、息遣いまでが伝わってきました。

翼が幅広で短いため急減速、急旋回を自在にこなし、林の中でも獲物を追って俊敏
に飛び回ることが出来ます。

小さな体であるが、威圧感のある鋭い目と大きく湾曲した爪を持ち、全ての小鳥た
ちを脅かす猛禽類の姿がありました。